



**Hewlett Packard**  
Enterprise

## HPE OneView 4.0 サポートマトリックス

### 摘要

このサポートマトリックスでは、HPE OneView を仮想マシンホストにインストールして使用するためのハードウェア、ファームウェアおよびソフトウェアの各要件を示します。

部品番号: P01320-191  
発行: 2017 年 12 月  
版数: 1

## ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。Hewlett Packard Enterprise は本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から許諾を得る必要があります。米国政府の連邦調達規則である FAR 12.211 および 12.212 の規定に従って、コマーシャルコンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーションおよびコマーシャルアイテムのテクニカルデータ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダーが提供する標準使用許諾規定に基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクを使用すると、Hewlett Packard Enterprise Web サイト外に移動します。Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報は Hewlett Packard Enterprise の管理対象外であり、それらの情報について責任を負いかねますのでご了承ください。

## 商標

Google<sup>®</sup>は、Google Inc.の登録商標です。Microsoft<sup>®</sup>、Windows<sup>®</sup>、および Windows Server<sup>®</sup>は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。Red Hat<sup>®</sup>は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の商標または登録商標です。

## 保証

Hewlett Packard Enterprise は購入日から 90 日以内であれば、問題のある配布メディアを交換します。

# 目次

<b>アプライアンスの要件</b> .....	<b>5</b>
アプライアンス VM およびホストの要件.....	5
仮想マシンを展開する場所.....	6
DL ベースのハイパーバイザー環境での展開.....	7
BladeSystem ハイパーバイザー環境での展開.....	7
高可用性のプランニング.....	8
ファームウェア要件.....	8
HPE Service Pack for ProLiant (SPP) .....	8
管理対象および監視対象デバイスのファームウェアの最小要件.....	8
サポートされる Web ブラウザーとバージョン.....	11
画面解像度.....	11
<b>サポートされるハードウェア</b> .....	<b>12</b>
管理対象の ProLiant BL および WS サーバースレード.....	12
管理対象の ProLiant DL ラックマウント型サーバー.....	12
管理対象の ProLiant ML サーバー.....	13
管理対象の ProLiant XL サーバー.....	13
サーバーハードウェア管理機能.....	14
監視対象サーバーハードウェア.....	16
サーバーハードウェア監視機能.....	17
HPE BladeSystem エンクロージャー.....	17
管理対象ストレージアレイ.....	18
管理対象の SAN スイッチと SAN マネージャー.....	19
ネットワークの LOM カードおよびメザニンカード.....	20
サポート対象の LOM カードとメザニンカード.....	20
インターコネクต์モジュール.....	22
インターコネクットの要件.....	23
Ethernet スイッチ.....	24
アダプターおよび HPE Virtual Connect の構成.....	24
ラックと電源.....	25
サポートされるストレージコントローラー.....	26
ローカルストレージをサポートする ProLiant DL サーバー.....	26
ストレージプラットフォームのサポート.....	27
<b>構成の上限</b> .....	<b>28</b>
割り当てられる ID.....	28
アプライアンス.....	28
接続.....	28
SAN ストレージ.....	29
エンクロージャー.....	29
ネットワークの制限.....	29
ネットワーク.....	30
電源および設備.....	30
サーバーハードウェア.....	31
サーバープロファイル.....	31

<b>サポートと他のリソース</b> .....	<b>32</b>
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	32
アップデートへのアクセス.....	32
Web サイト.....	33
リモートサポート（HPE 通報サービス）.....	33
カスタマーセルフリペア（CSR）.....	34
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	34

# アプライアンスの要件

## アプライアンス VM およびホストの要件

HPE OneView は、以下のサポートされるハイパーバイザーホスト上で動作する仮想アプライアンスです。

表 1: サポートされるハイパーバイザーとバージョン

ハイパーバイザー	バージョン
VMware vSphere ESXi	<ul style="list-style-type: none"><li>• 5.5</li><li>• 5.5 Update 1</li><li>• 5.5 Update 2</li><li>• 5.5 Update 3</li><li>• 6.0</li><li>• 6.0 Update 1</li><li>• 6.0 Update 2</li><li>• 6.0 Update 3</li><li>• 6.5</li><li>• 6.5 Update 1</li></ul>
Microsoft Hyper-V	<p>Hyper-V は、Hyper-V の役割がインストールされている次の Microsoft Windows プラットフォームでサポートされます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• Windows Server 2012 (ProLiant Gen8 および ProLiant Gen9 プラットフォーム)</li><li>• Windows Server 2012 R2 (ProLiant Gen10 プラットフォーム)</li><li>• Windows Hyper-V Server 2012</li><li>• Windows Hyper-V Server 2012 R2</li><li>• Windows Server 2016</li><li>• Microsoft Hyper-V Server 2016</li></ul>
KVM	<ul style="list-style-type: none"><li>• RHEL 7.2</li><li>• RHEL 7.3</li></ul>

アプライアンス仮想マシン (VM) の要件が次のように変更されました。アプライアンスの仮想マシン (VM) は ProLiant G7 クラス CPU またはそれ以降の VM ホスト上で実行する必要があります。ハイパーバイザーホストで、以下の最小限のリソース要件が HPE OneView 仮想アプライアンス用に予約されていることを確認します。

- 2 GHz 以上の仮想 CPU 4 個
- 16GB のメモリ
- シックプロビジョニングされた 275 GB のディスク容量

仮想ディスクを手動で拡張して、ファームウェアリポジトリのサイズを増やすことができます。ベストプラクティスは、VMware vSphere ハイパーバイザーまたは Microsoft Hyper-V ハイパーバイザーでのアプライアンスのインストール時に仮想ディスクを拡張することをお勧めします。

- 管理 LAN への接続。Hewlett Packard Enterprise は、管理用とデータ用のネットワークを分離することを強くお勧めします。

仮想アプライアンスは正確な時間ソースを持っていることが重要です。ネットワークタイムプロトコル (NTP) を使用する仮想アプライアンスの正確な時間を確保するには、次の 2 つのオプションがあります。

ハイパーバイザー上の NTP	ハイパーバイザーホストが NTP を使用するように構成し、時刻ソースとしてハイパーバイザーホストを使用するように HPE OneView を構成します。
HPE OneView の NTP	HPE OneView が 3 つ以上の NTP サーバーを使用するように構成します。

- HPE OneView ハイパーバイザーホストには、次の要件があります。
  - ProLiant G7 クラス以降の CPU
  - 次の最小システム要件を満たしている。
    - [Minimum system requirements for installing ESXi/ESX \(1003661\)](#) VMware Knowledge Base
    - [Review Prerequisites for Installation](#) (Hyper-V Server 2012、Hyper-V Server 2012 R2)、Microsoft TechNet
    - [Hyper-V をインストールして仮想マシンを作成する](#) (Windows Server 2012)、Microsoft Windows Server
- BIOS 設定の電源管理オプション：
  - パワーレギュレーターをスタティックハイパフォーマンスモードに設定する。
  - 電力プロファイルを最大パフォーマンスに設定する。
  - Hewlett Packard Enterprise は、CPU とメモリの予約/共有を推奨します。

## 仮想マシンを展開する場所

HPE OneView は、[アプライアンス VM およびホストの要件](#)の要件を満たす ProLiant ハードウェアに展開できます。HPE OneView が管理または監視するハードウェアには、特定の制限が適用されます。

HPE OneView は、以下のハードウェア環境のハイパーバイザーに展開できます。

- [ラックマウント型の ProLiant DL](#)
- [BladeSystem](#)

HPE OneView を使用して HPE OneView が実行されているハイパーバイザーホストを管理する場合は、両方の環境に制限が適用されます。

- ❶ **重要:** HPE OneView の仮想アプライアンスは、管理機能専用のハイパーバイザー環境に展開し、本番ハイパーバイザー環境とは別にされることをお勧めします。

## DL ベースのハイパーバイザー環境での展開

一般的に、DL ベースのハイパーバイザー構成環境を使用して HPE OneView を展開することは、最も簡単な選択肢です。ベストプラクティスは、高可用性 (HA) のハイパーバイザークラスター構成に展開することです。

DL ラックサーバーの単一ハイパーバイザーホストを持つ非 HA 構成では、DL ラックサーバーのハイパーバイザーホストを、管理対象サーバーハードウェアとして HPE OneView に追加する機能はサポートされていません。監視対象モードでホストを追加します。監視対象モードでは、誤って仮想アプライアンスの電源をオフにしてしまうことのないように、HPE OneView からハイパーバイザーホストの電源をオフにしないでください。

HPE OneView の仮想アプライアンスがホスト間で移行できる HA 構成では、上記の制限は依然として適用されますが、VM の移行を利用することによって回避することが可能です。この方法は間違いを起こしやすい点に注意してください。仮想アプライアンスは、仮想アプライアンスが動作しているハイパーバイザーホストを検出できないため、未サポートの操作に関してユーザーに警告を出すことができません。

ベストプラクティスは、HPE OneView を使用して、クラスター内の DL ハイパーバイザーホストを監視することです (管理することではありません)。監視対象モードでは、HPE OneView を使用するホストの電源をオフにする前に、アプライアンスがそのホスト上で動作していないことを確認します。動作している場合は、HPE OneView アプライアンスを別のクラスターメンバーに移行する必要があります。

DL ハイパーバイザーホストが管理対象モードで HPE OneView に追加された場合、さらに以下の制限が適用されます。

- HPE OneView 仮想アプライアンスが現在実行されているハイパーバイザーホストのサーバープロファイルの適用または編集には、そのサーバーハードウェアの電源をオフにする必要がありますので、できません。
- サーバープロファイルを適用する前に、クラスター内の別のホストにアプライアンスを移行する必要があります。

## BladeSystem ハイパーバイザー環境での展開

BladeSystem 構成では、管理対象エンクロージャーのサーバープロファイル接続管理に関する留意事項に加え、**DL サーバーと同じ制限**が課されます。

BladeSystem の場合、サーバープロファイルは、ブレードサーバーに対するすべてのネットワーク接続をカプセル化し、エンクロージャー内のインターコネクトモジュールと連携して機能します。

非 HA ハイパーバイザー BladeSystem 環境の単一エンクロージャー上にある ESXi ホストの HPE OneView に HPE OneView を展開するときのベストプラクティスは、エンクロージャーの監視であり、管理することではありません。上記と同じ制限が引き続き適用されます。現在 HPE OneView アプライアンスが動作している VM ホストの電源をオフにしないでください。

単一エンクロージャー環境、またはエンクロージャーが管理対象モードで HPE OneView に追加されたマルチエンクロージャー環境の場合、エンクロージャーは、非 VC インターコネクトモジュールを含む必要があります。HPE OneView 仮想アプライアンスをサポートするハイパーバイザーホストのストレージおよびネットワーク接続は、これらの非 VC インターコネクトモジュールを使用する必要があります。サーバープロファイルの操作と電源の操作を実行する場合、その操作を実行している特定のホストで HPE OneView 仮想アプライアンスが実行されないようにしてください。

## 高可用性のプランニング

HPE OneView を高可用性 (HA) 構成で使用するには、ハイパーバイザーのドキュメントを参照し、特定の要件を確認してください。

アプライアンスの可用性を維持するために、HPE OneView には構成設定および管理データをバックアップファイルに保存するバックアップ機能が用意されています。Hewlett Packard Enterprise は、できれば毎日、および他のキーの構成、ご使用のアプライアンスのバックアップを取ることをお勧めします。

### 詳細情報

オンラインヘルプの「アプライアンスのバックアップについて」

オンラインヘルプの「アプライアンスをバックアップするためのベストプラクティス」

## ファームウェア要件

この項では、HPE OneView で管理する予定のデバイスのファームウェア要件について説明します。

デバイスをアプライアンスに追加してアクティブに管理するには、デバイスが**管理対象および監視対象デバイスのファームウェアの最小要件**(8 ページ)の項に示すファームウェアの最小要件を満たしている必要があります。

---

**注記:** 監視対象デバイスのファームウェアは、HPE OneView の管理対象外です。

---

## HPE Service Pack for ProLiant (SPP)

最新の HPE Service Pack for ProLiant (SPP) を <http://hpe.com/info/SPP> からダウンロードし、アプライアンスにアップロードします。

---

**注記:** SPP の最新のプロダクションバージョンとポストプロダクションバージョンの詳細については、[http://h17007.www1.hpe.com/us/en/enterprise/servers/products/service\\_pack/spp/index.aspx](http://h17007.www1.hpe.com/us/en/enterprise/servers/products/service_pack/spp/index.aspx) の「**重要な注意点**」セクションを参照してください。

---

## 管理対象および監視対象デバイスのファームウェアの最小要件

HPE OneView がデバイスを検出してそのタイプを判別するには、**最小ファームウェアバージョンが必要で**す。これは、**アクティブ管理または監視に必要なファームウェアバージョン**とは異なります。検出のみのレベルのファームウェアを搭載したデバイスは、HPE Service Pack for ProLiant (SPP) を使用して最小条件にアップグレードできます。デバイスを HPE OneView に管理対象として追加すると、ファームウェアコンポーネントがアップグレードされます。監視対象のデバイスや、ファームウェアバージョンが HPE OneView 検出に必要なバージョンより古いデバイスの場合は、ファームウェアバージョンを HPE OneView の外で手動で最小要件に更新する必要があります。

---

**注記:** ご使用のハードウェアが利用可能なすべての管理機能を活用するために最新かつ最も強力なファームウェアバンドルを搭載するには、アプライアンスに最新のファームウェアバンドルをダウンロードし、それをファームウェアレポジトリに追加します。

---

エンクロージャーとサーバーを管理対象として追加するときに、Onboard Administrator モジュール、インターコネクトモジュール、および iLO モジュールに対してファームウェアベースラインを指定できます。



表 2: デバイスの検出に必要な最小ファームウェアバージョン

デバイス	ファームウェアバージョン
HPE Virtual Connect	3.15
HPE BladeSystem Onboard Administrator	3.00 <sup>1</sup>
Gen10 サーバー用 Integrated Lights-Out5	1.10 <sup>2</sup>
Gen9 サーバー用 Integrated Lights-Out4	2.0 <sup>3</sup>
Gen8 サーバー用 Integrated Lights-Out4	1.01 <sup>3</sup>
Integrated Lights-Out3	1.20 <sup>3</sup>

<sup>1</sup> HPE Integrity Superdome X の場合は 6.0.42。

<sup>2</sup> HPE OneView 4.0 は、製品または高セキュリティのいずれかのセキュリティ状態を使用するように構成されている場合に iLO5 をサポートします。iLO セキュリティ状態の設定の詳細については、iLO ユーザーインターフェイスまたは iLO マニュアルを参照してください。

<sup>3</sup> HPE OneView 4.0 は、iLO の標準の暗号化（デフォルト）設定または強制 AES/3DES 暗号化設定を使用するように構成されている場合に、iLO3 と iLO4 をサポートします。

管理対象デバイスだけが自動的に更新されます。監視対象デバイスは、以下の最小ファームウェアに一致するように、手動でアップグレードする必要があります。

表 3: アクティブな管理、監視、および移行を行うための最小ファームウェアバージョン

デバイス	ファームウェアバージョン
HPE Virtual Connect	4.10 <sup>1</sup>
HPE BladeSystem Onboard Administrator	4.01 <sup>2, 3, 4</sup>
すべてが非 Virtual Connect のインターコネクトを搭載した HPE BladeSystem Onboard Administrator	4.31
Virtual Connect と非 Virtual Connect が混在する HPE BladeSystem Onboard Administrator	4.31
Gen10 サーバー用 Integrated Lights-Out5	1.10 <sup>5</sup>
Gen9 サーバー用 Integrated Lights-Out4	2.03 <sup>6</sup>
Gen8 サーバー用 Integrated Lights-Out4	1.30 <sup>6</sup>
Integrated Lights-Out3	1.61 <sup>6</sup>
Integrated Lights-Out2	2.13

表は続く

デバイス	ファームウェアバージョン
Gen8 サーバー用 Intelligent Provisioning <sup>7</sup>	Gen 8 AMD システムには 1.61 Gen 8 Intel システムには 1.20
Gen9 サーバー用 Intelligent Provisioning	2.0
HPE SPP (Service Pack for ProLiant)	<b>HPE Service Pack for ProLiant (SPP)</b> (8 ページ)を参照してください。
HPE Insight マネジメントエージェント (G6 および G7 サーバーの監視用)	9.20
Emulex コンバージドネットワークアダプター	4.2.401.6 以上

<sup>1</sup> HPE Virtual Connect モジュールのファームウェアに関する注意事項を参照してください。

<sup>2</sup> 監視サポートのみ。管理対象サポートに必要な最小ファームウェアは 4.31 です。

<sup>3</sup> HPE Integrity Superdome X の場合は 6.0.42。

<sup>4</sup> ファームウェアバージョンが 4.70 以降の Onboard Administrator では、スマートカードを使用した Two-Factor 認証の一形態である CAC 認証がサポートされています。HPE OneView は、CAC 認証または **Two-Factor 認証** が有効になっているときは、Onboard Administrator と通信できません。

<sup>5</sup> HPE OneView 4.0 は、製品または高セキュリティのいずれかのセキュリティ状態を使用するように構成されている場合に iLO5 をサポートします。iLO セキュリティ状態の設定の詳細については、iLO ユーザーインターフェイスまたは iLO マニュアルを参照してください。

<sup>6</sup> HPE OneView 4.0 は、iLO の標準の暗号化 (デフォルト) 設定または **強制 AES/3DES 暗号化** 設定を使用するように構成されている場合に、iLO3 と iLO4 をサポートします。

<sup>7</sup> Intel ベースシステムの場合は、以下のとおりです。

- サーバープロファイル経由でファームウェアベースラインを管理する場合は、Intelligent Provisioning バージョン 1.20 以降が必要です。
- サーバープロファイル経由で BIOS 設定を管理する場合、iLO バージョン 2.0 以降を搭載するサーバーには Intelligent Provisioning バージョン 1.20 以降が必要です。

IP バージョンを確認するには、サーバー上の iLO にアクセスし、システム情報を選択して、ファームウェアタブをクリックします。最新バージョンの Intelligent Provisioning (IP) ファームウェアは **ダウンロード** できます。

**注記:** HPE OneView は、アプライアンスにアップロードされた SPP ファームウェアバンドルを使用して、完全管理のために必要な最小バージョンにこれらのデバイスのファームウェアを自動的にアップデートします。

#### HPE Virtual Connect モジュールのファームウェアに関する注意事項

- それ以前のバージョンの HPE Virtual Connect ファームウェアがインターコネクに組み込まれている場合は、VCSU (Virtual Connect Support Utility) を使用してファームウェアをバージョン 3.15 以上にアップデートしてから、デバイスをアプライアンスに追加することをお勧めします。
- HPE OneView は、最小ファームウェアバージョンの 4.10 がインストールされた HPE Virtual Connect ファイバーチャネルモジュールを、IPv6 アドレスを使用して管理および構成できます。それ以前のファームウェアバージョンが組み込まれたモジュールをアプライアンスに追加すると、ファームウェアアップ

デートの対象としてフラグが設定されます。UIで**論理インターコネクト > アクション > ファームウェアのアップデート**を使用してインターコネクトファームウェアを更新するまで、フラグが設定されたモジュールは非管理の状態で残ります。

- HPE OneView では、TLSv1.2、CNSA 暗号化に制限されているか、Two-Factor 認証が有効になっている Virtual Connect Manager ドメインの移行はサポートされていません。
- HPE FlexFabric-20/40 F8 モジュールには、Virtual Connect 4.20 以降が必要です。
- HPE Virtual Connect 8Gb 24 ポート FC モジュールには、ファームウェアが 3.01 以降のファイバーチャネルと Virtual Connect 4.40 以降が必要です。
- HPE Virtual Connect 16Gb 24 ポートファイバーチャネルモジュールには、Virtual Connect 4.40 以降が必要です。

## サポートされる Web ブラウザーとバージョン

以下の Web ブラウザーは、HPE OneView で使用するためにテストされ、適格とされました。

- Microsoft Internet Explorer バージョン 11
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox バージョン 45.x
- Mozilla Firefox ESR (延長サポート版) バージョン 52.x
- Google Chrome バージョン 54.x

---

**注記:** Microsoft Internet Explorer (IE) および Microsoft Edge は、4 GB より大きいファイルを転送できません。このようなファイルには、Mozilla Firefox または Google Chrome ブラウザーを使用してください。

---

- ❗ **重要:** Hewlett Packard Enterprise は、サポートされる Web ブラウザーの新しいバージョンおよびアップデートをサポートできるように最大限努力します。ただし、新しいバージョンが予想どおりに動作しない場合があります。現在のリリースの HPE OneView でのサポートを不可能にする問題が Web ブラウザーにあり、Web ブラウザーのリリース時期と HPE OneView でその Web ブラウザーをサポートできる時期との間が空いたりする場合があります。このような場合、Hewlett Packard Enterprise は、HPE OneView の次のメンテナンスリリースまたはフルリリースで新しいブラウザバージョンをサポートできるように取り組みます。

テストされていない新しいバージョンの Web ブラウザーに関する問題が発生した場合は、認定サポート担当者にレポートを提出してください。場合によっては、前のバージョンのサポート対象の Web ブラウザーに戻すことが、短期的な解決策となる可能性があります。

---

## 画面解像度

- 最小解像度 : 1024 x 768
- 推奨の解像度 : 1280 x 1024 以上

# サポートされるハードウェア

注記: サポートされている HPE ストレージ製品構成の詳細については、<http://www.hpe.com/storage/spock> を参照してください。

## 管理対象の ProLiant BL および WS サーバースレード

以下のサーバースレードモデルは、管理対象として追加することができます。

表 4: 管理対象の ProLiant BL および WS サーバースレード

モデル	G7	Gen8	Gen9	Gen10
BL420c		✓		
BL460c	✓	✓	✓	✓
BL465c	✓	✓		
BL490c	✓			
BL620c	✓			
BL660c		✓	✓	
BL685c	✓			
WS460c (シングル幅およびダブル幅のブレード)		✓	✓	

## 管理対象の ProLiant DL ラックマウント型サーバー

以下のラックマウント型サーバーモデルは、管理対象として追加することができます。

表 5: 管理対象の ProLiant DL ラックマウント型サーバー

モデル	Gen8	Gen9	Gen10
DL20		✓	
DL60		✓	
DL60e		✓	
DL80		✓	
DL80e		✓	
DL120		✓	✓
DL160	✓	✓	✓

表は続く

モデル	Gen8	Gen9	Gen10
DL180		✓	✓
DL320e	✓		
DL320e v2	✓		
DL320p		✓	
DL360		✓	✓
DL360e	✓		
DL360p	✓		
DL380		✓	✓
DL380e	✓		
DL380p	✓		
DL380z	✓		
DL385			✓
DL385p	✓	✓	
DL560	✓	✓	✓
DL580	✓	✓	✓

## 管理対象の ProLiant ML サーバー

以下の ML サーバーモデルは、管理対象として追加することができます。

表 6: 管理対象の ProLiant ML サーバー

モデル	Gen8	Gen9	Gen10
ML110		✓	
ML350		✓	✓

## 管理対象の ProLiant XL サーバー

以下の XL サーバーモデルは、管理対象として追加することができます。

表 7: 管理対象の ProLiant XL サーバー

モデル	Gen9	Gen10
XL170r	✓	✓
XL190r	✓	✓
XL230a	✓	
XL230b	✓	
XL230k		✓
XL250a	✓	
XL260a	✓	
XL2x260w	✓	✓
XL270d	✓	
XL280d	✓	
XL420	✓	
XL450	✓	✓

## サーバーハードウェア管理機能

アプライアンスは、管理対象として追加された場合のサーバーハードウェアで以下の機能をサポートします。

機能	サポートされるサーバーハードウェア		
	HPE ProLiant BL G7 <sup>1</sup>	HPE ProLiant WS Gen8/Gen9 および HPE ProLiant BL Gen8/Gen9/Gen10	HPE ProLiant DL Gen8/Gen9/Gen10、HPE ProLiant ML Gen9、および HPE ProLiant XL Gen9/Gen10
サーバーの電源のオン/オフ	✓	✓	✓
インベントリデータの表示	✓	✓	✓
電源、冷却、および使用率の監視 <sup>2</sup>	✓	✓	✓

表は続く

機能	サポートされるサーバーハードウェア		
	HPE ProLiant BL G7 <sup>1</sup>	HPE ProLiant WS Gen8/Gen9 および HPE ProLiant BL Gen8/Gen9/Gen10	HPE ProLiant DL Gen8/Gen9/Gen10、HPE ProLiant ML Gen9、および HPE ProLiant XL Gen9/Gen10
ヘルスおよびアラートの監視	SNMP エージェントを手動でインストールおよび構成した場合  <u>注記: SNMP エージェントは ESXi では使用できません</u>	✓ <sup>3</sup>	✓ <sup>3</sup>
iLO のリモートコンソールの起動 <sup>4</sup>	✓	✓	✓
iLO Web インターフェイスへの SSO (シングルサインオン)	✓	✓	✓
アプライアンスに追加するときの、ファームウェアのサポートされる最小バージョンへの自動アップグレード (iLO)	✓	✓	✓
ラックのビジュアル化および編集	✓	✓	✓
サーバーハードウェアタイプの自動検出	✓	✓	✓
リモートサポート <sup>5</sup>		✓ <sup>6</sup>	✓
サーバープロファイル機能:			
BIOS 設定		✓	✓ <sup>7</sup>
ファームウェア		✓	✓
ネットワークへの接続	✓	✓	
ブート順序 <sup>8</sup>	✓	✓	✓ <sup>7、9</sup>
ローカルストレージ <sup>10</sup>		✓	✓ <sup>11、12</sup>
SAN ストレージ	✓	✓	
Insight Control および Insight Control サーバープロビジョニング	✓	✓ <sup>13</sup>	✓ <sup>14</sup>

- 1 アプライアンスは、ダブル幅で倍密度の一部の ProLiant G7 サーバードモデルに関して、サポート対象外というステータスを報告することがあります。これは、アプライアンスがそのモデルを管理できないことを意味します。
- 2 すべてのサーバーが電源、冷却、および使用率の監視をサポートしているわけではありません。
- 3 最適な情報を得るには、サーバー OS に Agentless Management Service (AMS) をインストールします。
- 4 リモートコンソールは、OS の起動時まで動作します。OS の起動後、HPE ProLiant DL のリモートコンソールでは iLO Advanced ライセンスが必要になります。
- 5 少なくとも iLO バージョン 2.1 が必要です。
- 6 HPE ProLiant WS Gen8 はサポートされていません。
- 7 HPE ProLiant DL580 Gen8 はサポートされていません。ローカルストレージをサポートしているモデルのリストについては、[ローカルストレージをサポートする ProLiant DL サーバー](#)を参照してください。
- 8 2014 年 8 月 27 日以前の BL Gen9 サーバー ROM の制限のため、ブートモードが UEFI または UEFI 最適化に設定されている場合、プライマリブートデバイスを設定することはできません。ブート順序の管理を選択すると、対応するプロファイルにこの状況を示す警告が表示されます。
- 9 HPE ProLiant XL260a、UEFI クラス 3 サーバー (UEFI ブートのみサポート) ではブート順序はサポートされていません。
- 10 内蔵アレイコントローラーでのみサポートされます。M.2 ドライブは、特定の構成でサポートされていません。詳細については、[サポートされているストレージコントローラー](#)を参照してください。
- 11 ローカルストレージは、HPE ProLiant DL Gen8 および Gen9 サーバーハードウェアの選択モデルをサポートします。ローカルストレージをサポートしているモデルのリストについては、[ローカルストレージをサポートする ProLiant DL サーバー](#)を参照してください。
- 12 ローカルストレージは、XL170r、XL190r、および XL260w Gen10 サーバーではサポートされていません。また、ローカルストレージは、XL260w Gen9 サーバーではサポートされていません。
- 13、14 HPE Insight Control および Insight Control サーバープロビジョニングは Gen10 プラットフォームではサポートされていません。

## 監視対象サーバーハードウェア

ハードウェアのインベントリおよび監視を行うために、ラックマウント型サーバーおよびブレードサーバーを追加できます。監視対象としてサポートされるサーバーは、以下のとおりです。

- ハーフハイトまたはフルハイトのすべての ProLiant BL G6 (iLO2 を搭載)
- ProLiant BL680c G7
- すべての ProLiant DL G6 (iLO2 を搭載)
- すべての ProLiant DL G7
- すべての ProLiant ML Gen8、Gen9、または Gen10
- すべての ProLiant XL サーバー
- HPE BL920s Gen8 または Gen9
- 管理対象としてリストされた、監視が可能なすべてのサーバー

---

**注記:** BL220c G7 はサポートされません。

ML10 では監視はサポートされません。

---



# サーバーハードウェア監視機能

サーバーハードウェアを監視するときに、アプライアンスは以下の機能をサポートします。

機能	監視対象サーバーハードウェア			
	ProLiant BL および DL G6 (iLO 2 搭載)	ProLiant BL および DL G7	ProLiant BL、DL、ML、XL Gen8/Gen9/Gen10	ProLiant BL920 Gen8/Gen9 (HPE BladepSystem Superdome)
サーバーの電源のオン/オフ	✓	✓	✓	✓
インベントリデータの表示	✓	✓	✓	✓
電源、冷却、および使用率の監視 <sup>1</sup>		✓	✓	✓ <sup>2</sup>
ヘルスおよびアラートの監視	SNMP エージェントを手動でインストールおよび構成した場合 <sup>3</sup>	SNMP エージェントを手動でインストールおよび構成した場合 <sup>3</sup>	✓	✓
iLO のリモートコンソールの起動		✓	✓	
リモートサポート (HPE 通報サービス)			✓ <sup>4</sup>	
SSO (シングルサインオン)		✓ <sup>5</sup>	✓ <sup>5</sup>	✓ <sup>6</sup>

<sup>1</sup> すべてのサーバーが電源、冷却、および使用率の監視をサポートしているわけではありません。

<sup>2</sup> 使用率はサポートされていません。

<sup>3</sup> SNMP エージェントは ESXi 5.x および 6.x では使用できません。

<sup>4</sup> ProLiant ML10 はリモートサポートではサポートされません。

<sup>5</sup> iLO Web インターフェイスに対する SSO

<sup>6</sup> Onboard Administrator (OA) に対する SSO OA ファームウェアバージョン 8.4.84 以降が必要です。

## HPE BladeSystem エンクロージャー

c7000 エンクロージャーでは、リモートサポートのご利用が可能です。

管理対象または監視対象として追加できるエンクロージャーは、以下のとおりです。

- HPE BladeSystem c7000 エンクロージャー
- HPE BladeSystem c7000 エンクロージャー (RoHS 準拠)
- HPE BladeSystem c7000 Platinum エンクロージャー (Platinum)

---

**注記:** HPE BladeSystem c3000 エンクロージャーはサポートされていません。

---

以下のエンクロージャーは、監視対象のみとして追加できます。

HPE BladeSystem Superdome エンクロージャー

#### 詳細情報

- [HPE BladeSystem c7000 エンクロージャー](#)
- [HPE BladeSystem Superdome エンクロージャー](#)

## 管理対象ストレージアレイ

このセクションでは、HPE OneView ストレージ自動化機能でサポートされているストレージシステムのバージョンについて説明します。<http://www.hpe.com/storage/spock> を参照して相互運用性について確認し、ご使用の環境でこれらのストレージシステムを構成する際に従う必要のあるサポート要件を確認してください。

- HPE 3PAR
  - StorServ 7000、8000、9000、10000、20000、および 20000 R2 ファミリプラットフォームでサポートされているファームウェアバージョンは、以下のとおりです。
    - 3PAR OS 3.1.3 MU1
    - 3PAR OS 3.1.3 MU2
    - 3PAR OS 3.1.3 MU3
    - 3PAR OS 3.2.1 MU1
    - 3PAR OS 3.2.1 MU2
    - 3PAR OS 3.2.1 MU3
    - 3PAR OS 3.2.1 MU4
    - 3PAR OS 3.2.1 MU5
    - 3PAR OS 3.2.2 MU2
    - 3PAR OS 3.2.2 MU3
    - 3PAR OS 3.2.2 MU4
    - 3PAR OS 3.3.1 EGA
    - 3PAR OS 3.3.1 MU1
- HPE StoreVirtual

- StoreVirtual 3200 LHOS 13.x
- StoreVirtual VSA LHOS 12.x

## 管理対象の SAN スイッチと SAN マネージャー

このセクションでは、HPE OneView で管理する SAN 自動化機能（自動ゾーニングを含む）でサポートされている SAN マネージャーの最小バージョンについて説明します。<http://www.hpe.com/storage/spock> を参照して相互運用性について確認し、ご使用の環境で SAN スイッチを構成する際に従う必要のあるサポート要件を確認してください。

### HPE FlexFabric スイッチ

HPE FlexFabric 5700 製品（HPE Comware ソフトウェアバージョン 7.1.045 リリース 2422 搭載）：

- HPE FlexFabric 5700 40XG 2QSFP+ スイッチ
- HPE FlexFabric 5700 32XGT-8XG 2QSFP+ スイッチ
- HPE FlexFabric 5700 48G-4XG 2QSFP+ スイッチ

HPE FlexFabric 5900 製品（HPE Comware ソフトウェア最小バージョン 7.1.045 リリース 2422.x 搭載）：

- HPE FlexFabric 5900CP 48XG 4QSFP+ スイッチ
- HPE FlexFabric 5900AF 48XG 4QSFP+ スイッチ
- HPE FlexFabric 5900AF 48XGT 4QSFP+ スイッチ

HPE FlexFabric 5930 製品（HPE Comware ソフトウェア最小バージョン 7.1.045 リリース 2422.x 搭載）：

- HPE FlexFabric 5930 32QSFP+ スイッチ
- HPE FlexFabric 5930 2 スロット 2QSFP+ スイッチ
- HPE FlexFabric 5930 4 スロット スイッチ

HPE FlexFabric 79xx シャーシ スイッチ（HPE Comware ソフトウェア最小バージョン 7.1.045 リリース 2138.x 搭載）：

- HPE FlexFabric 7904 スイッチ シャーシ
- HPE FlexFabric 7910 スイッチ シャーシ

HPE FlexFabric 129xxx シャーシ スイッチ（HPE Comware ソフトウェア最小バージョン 7.1.045 リリース 1138.x 搭載）：

- HPE FlexFabric 12916 スイッチ AC シャーシ
- HPE FlexFabric 12910 スイッチ AC シャーシ

### Brocade スイッチ

HPE Network Advisor または Brocade Network Advisor (BNA) ソフトウェア 12.1.4、12.1.5、12.1.6、12.3.1、12.3.3、12.3.4、12.4、12.4.1、12.4.2、12.4.3、12.4.4、14.0、14.0.1、14.0.2、14.0.3、および 14.2.1 を搭載した Brocade 8 Gb、16 Gb、および 32 Gb FC SAN スイッチ

---

**注記:** BNA 14.2 は、一部の HPE OneView リリースでは正常に動作しないことが確認されています。この問題は、BNA 14.2.1 で修正されています。

---

### Cisco Nexus スイッチ

Cisco Nexus 5500 モデル — NX OS 6.0、7.0、7.1、7.2 :

- Cisco Nexus 5548UP
- Cisco Nexus 5596UP

Cisco Nexus 6000 モデル — NX OS 7.0、7.1、7.2 :

- Cisco Nexus 6001P
- Cisco Nexus 6004EF

Cisco MDS 8 Gb および 16 Gb FC SAN スイッチ — NX-OS 6.2、8.1

## ネットワークの LOM カードおよびメザニンカード

次のアダプターがサポートされています。アダプターが以下のリストにない場合は、**非管理サポート**です。非管理サポートとは、そのアダプターはサーバーに搭載したままで動作できるが、HPE OneView によって管理されないことを意味します。そのアダプターは、モデルと接続先（たとえば、インターコネクトモジュール）によっては、引き続き使用できる可能性があります。アプライアンスは、アプライアンス UI のサーバーハードウェアまたはサーバーハードウェアタイプ画面で、アダプターの存在を報告します。

---

**注記:** 外部ストレージでこれらのコンポーネントを使用する場合は、<http://www.hpe.com/storage/spock> を参照して相互運用性について確認し、またご使用の環境でこれらを構成する際に従う必要のあるサポート要件も確認してください。

---

**注記:** ファームウェアバンドルが指定されており、それに管理対象外アダプター用のアップデートコンポーネントが含まれている場合は、サーバー内の管理対象外アダプターでサーバープロファイルで管理されるものに対し、ファームウェアがアップデートされる場合があります。

---

## サポート対象の LOM カードとメザニンカード

### FlexFabric アダプター

- HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 534M アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 554M アダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2 ポート 630M アダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2 ポート 650M アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 534FLB アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 536FLB アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 554FLB アダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2 ポート 630FLB アダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2 ポート 650FLB アダプター

- HPE FlexFabric 10Gb デュアルポート NC551i コンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb デュアルポート NC553i コンバージドネットワークアダプター

### **Ethernet および Flex-10 Ethernet アダプター**

- HPE Flex-10 10Gb 2 ポート 530M アダプター
- HPE Flex-10 10Gb 2 ポート 530FLB アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2 ポート 521T アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2 ポート 535T アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2 ポート 522FLR-T アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2 ポート 535FLR-T アダプター
- HPE Flex-10 10Gb 2 ポート 552M アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2 ポート 561FLR-T アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2 ポート 562FLR-T アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2 ポート 562T アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2 ポート 621SFP28 アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2 ポート 622FLR-SFP28 アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2 ポート 631SFP28 アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2 ポート 631FLR-SFP28 アダプター
- HPE NC532m デュアルポート Flex-10 10GbE マルチファンクション BL-c アダプター
- HPE NC542m デュアルポート Flex-10 10GbE BL-c アダプター
- HPE NC550m 10Gb 2 ポート PCIe x8 Flex-10 アダプター
- HPE NC552m 10Gb 2 ポート Flex-10 Ethernet アダプター
- HPE NC553m 10Gb 2 ポート FlexFabric アダプター
- HPE NC551m デュアルポート FlexFabric 10Gb コンバージドネットワークアダプター

### **ファイバーチャネルアダプター**

- HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター
- QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE LPe1605 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター
- Emulex LPe1205-HPE 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター

# インターコネクトモジュール

注記: 外部ストレージでこれらのコンポーネントを使用する場合は、<http://www.hpe.com/storage/spock> を参照して相互運用性について確認し、またご使用の環境でこれらを構成する際に従う必要のあるサポート要件も確認してください。

表 8: サポートされるインターコネクトモジュール

デバイス	フルサポート	監視対象サ ポート c7000 <sup>1</sup>	非管理サポー ト c7000 <sup>2</sup>	非管理サポー ト Superdome <sup>7</sup>
HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8 モ ジュール <sup>3</sup>	✓			
HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8 TAA モジュール <sup>3</sup>	✓			
HPE Virtual Connect FlexFabric 10Gb/24 ポー トモジュール	✓			
HPE Virtual Connect Flex-10 10Gb Ethernet モ ジュール	✓			
HPE Virtual Connect Flex-10/10D モジュール	✓			
HPE Virtual Connect 8Gb 20 ポートファイ バーチャネルモジュール	✓			
HPE Virtual Connect 8Gb 24 ポートファイ バーチャネルモジュール <sup>4</sup>	✓			
HPE Virtual Connect 16Gb 24 ポートファイ バーチャネルモジュール <sup>4</sup>	✓			
HPE Virtual Connect 16Gb 24 ポートファイ バーチャネル TAA モジュール <sup>4</sup>	✓			
HPE BladeSystem 向け Cisco Fabric Extender <sup>5</sup>	✓ <sup>6</sup>	✓		
HPE 1/10 Gb Ethernet スイッチパススルーモ ジュール			✓	✓
HPE 6127XLG ブレードスイッチ				✓
HPE 6125XLG ブレードスイッチ				✓
HPE 6120G/XG ブレードスイッチ				✓
HPE BladeSystem 向け Brocade 16Gb SAN ス イッチ c-Class				✓

表は続く

デバイス	フルサポート	監視対象サ ポート c7000 <sup>1</sup>	非管理サポー ト c7000 <sup>2</sup>	非管理サポート Superdome <sup>7</sup>
BladeSystem 向け HPE 4X FDR InfiniBand ス イッチ c-Class				✓
その他の HPE および他社製インターコネク トモジュールすべて			✓	

<sup>1</sup> 基本的な電源およびヘルスの監視に使用できます。

<sup>2</sup> 非管理サポートとは、そのデバイスはエンクロージャーに搭載したままで動作できるが、HPE OneView によって管理されないことを意味します。

<sup>3</sup> サポートされている Virtual Connect の最小ファームウェアバージョンは 4.20 です。

<sup>4</sup> HPE OneView 3.10 でモジュールを管理するには、ファームウェアバージョン 3.01 以降のファイバーチャネルが必要です。サポートされている Virtual Connect の最小ファームウェアバージョンは 4.40 です。

<sup>5</sup> Cisco Nexus B22 Blade Fabric Extender for HPE と呼ばれます。

<sup>6</sup> 個別の HPE OneView B22HP FEX Management ライセンスが必要です。

<sup>7</sup> これらのインターコネクは、HPE BladeSystem Superdome エンクロージャーでサポートされています。HPE BladeSystem Superdome エンクロージャーは、監視対象のみとして追加できます。

## インターコネクの要件

### すべてのインターコネクモジュールに対する要件

- 各 VC Enet モジュールでの 10GBase-T SFP+ トランシーバ数の上限については、**Virtual Connect リリースノート**を参照してください。
- 水平方向のペアとなるインターコネクモジュール（たとえば、エンクロージャーのベイ 1 とベイ 2）は、同じモデルである必要があります。ペアとなるベイを未装着にすることもできますが、水平方向の冗長性が失われます。

**注記:** インターコネクのリモートサポートはご利用いただけません。

### HPE Virtual Connect 8Gb 20 ポートファイバーチャネルモジュール、HPE Virtual Connect 16Gb 24 ポートファイバーチャネルモジュール、および HPE Virtual Connect 8Gb 24 ポートファイバーチャネルモジュールに対する要件

- インターコネクモジュールは、ファブリック接続用のみとする必要があります。
- インターコネクのファームウェアバージョンは、**管理対象および監視対象デバイスのファームウェアの最小要件**(8 ページ)に記載されているファームウェアバージョン以上である必要があります。
- インターコネクモジュールをベイ 1 または 2 に配置することはできません。

### HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8 モジュールに対する要件

- インターコネクモジュールのエンクロージャー内に 10 個のファンが必要です。
- 1 つのエンクロージャー内に 6 個を超える HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8 モジュールを挿入しないでください。

- 4x10G 操作用に構成されている場合、QSFP +ポートをリモート側の4つの SFP+ポートに多重化するために、付属の分岐ケーブルで接続可能なモジュールを取り付ける必要があります。
- HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8 モジュールは、次の SKU の c7000 エンクロージャーでサポートされています。5XXXXX-B21、6XXXXX-B21、および 7XXXXX-B21。

FCoE は、以下のインターコネクトおよび対応するポート上でサポートされます。

- HPE Virtual Connect FlexFabric 10Gb/24 ポート、ポート X1-X4 のみ
- HPE Virtual Connect Flex-10/10D Ethernet モジュール、ポート X1-X10
- HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8 モジュール、ポート Q1-Q4、X1-X8

## 詳細情報

### 管理対象および監視対象デバイスのファームウェアの最小要件

## Ethernet スイッチ

以下の Ethernet スイッチは、HPE Virtual Connect Flex-10、FlexFabric インターコネクト、および Cisco ファブリックエクステンダーモジュールに接続されている場合に、監視と基本的な構成がサポートされます。物理スイッチの情報、物理ポートの情報、ポートの統計情報、ヘルスイベントとポート状態の変更、およびエンクロージャーエッジとアップストリームスイッチ間のネットワークの可用性を監視できます。オプションで、エンクロージャーエッジポートとアップストリームスイッチポート間のポート状態およびネットワークプロビジョニングの制御を基本構成の一部として有効にすることができます。

スイッチタイプ	最小サポート対象バージョン
Cisco Nexus 5548UP スイッチ	NX-OS 5.2(1)N1(9)
Cisco Nexus 5596UP スイッチ	NX-OS 6.0(2)N2(7)
	NX-OS 7.0(8)N1(1)
Cisco Nexus 6001P スイッチ	NX-OS 7.0(8)N1(1)
Cisco Nexus 6004EF スイッチ	
Cisco Nexus 5010 スイッチ	NX-OS 5.2(1)N1(9)
Cisco Nexus 5020 スイッチ	

## アダプターおよび HPE Virtual Connect の構成

HPE OneView は、以下のアダプターおよび HPE Virtual Connect モジュールの構成を経由するネットワーク接続をサポートしています。



表 9: サポートされた FLB/LOM/メザニンアダプター構成

構成	FlexFabric アダプター	Flex-10 アダプター	イーサネットアダプター
HPE Virtual Connect FlexFabric 20/40 F8 モジュールで、VC f/w 4.50 および HPE FlexFabric 20Gb 2 ポート 650FLB/M アダプターまたは HPE FlexFabric 10GB 2 ポート 556FLB アダプター搭載のもの	物理ポートごとに 8 つの FlexNIC または 7 つの FlexNIC と 1 つの FlexHBA <sup>1</sup>	物理ポートごとに 4 つの FlexNIC (Ethernet のみ)	接続なし
HPE Virtual Connect FlexFabric 10Gb/24 ポート モジュール	物理ポートごとに 4 つの FlexNIC または 3 つの FlexNIC と 1 つの FlexHBA	物理ポートごとに 4 つの FlexNIC (Ethernet のみ)	
HPE Virtual Connect Flex-10/10D モジュール  HPE Virtual Connect Flex-10 10Gb モジュール	物理ポートごとに 4 つの FlexNIC (Ethernet のみ)		
Ethernet インターコネクト (外部マネージャー)	2x 物理ポート <sup>2</sup>		

<sup>1</sup> 4 つの FlexNIC の内の 1 つは、FCoE (Fibre Channel over Ethernet) を使用してストレージ機能を構成できます。Ethernet は 4 つすべての FlexNIC で使用できます。HPE OneView は、デバイスタイプ、ネットワークまたは VLAN の設定、帯域幅の設定など、サーバープロファイル接続を使用して FlexNIC ネットワーク接続を構成します。

<sup>2</sup> HPE OneView によって管理されません。HPE OneView は、物理ポートを未構成のデフォルトの状態に維持します。エンクロージャーの隣接 IO ベイで標準の Ethernet インターコネクトまたは Ethernet パススルーモジュールを使用して、ネットワーク接続を行うことができます。

## ラックと電源

- HPE Intelligent パワーディストリビューションユニット (ファームウェアバージョン 1.4 以降)
- HPE Intelligent シリーズラック
- ソフトウェアおよびファームウェア用 HPE Location Discovery Service (位置情報検出機能) (以下の SKU の ProLiant DL Gen8 ラックマウント型サーバーおよび HPE BladeSystem c7000 エンクロージャー) : 5XXXXX-B21、6XXXXX-B21、および 7XXXXX-B21

# サポートされるストレージコントローラー

サーバープロファイルのローカルストレージを構成する際、以下の内蔵コントローラーがサポートされます。

- HPE Smart アレイ P220i
- HPE Smart アレイ P230i
- HPE Smart アレイ P244br
- HPE Smart アレイ P246br
- HPE Smart アレイ P420i
- HPE Smart アレイ P440ar
- HPE Smart アレイ P830i
- HPE Smart アレイ P840ar
- HPE Dynamic Smart アレイ B140i
- HPE Dynamic Smart アレイ B320i
- HPE Smart HBA H244br
- HPE Smart HBA H240ar
- HPE Smart HBA H450ar
- HPE Smart アレイ E208i-a SR Gen10
- HPE Smart アレイ P408i-a SR Gen10
- HPE Smart アレイ P204i-b SR Gen10

表 10: サポートされている M.2 ドライブ構成

ストレージコントローラー	M.2 ドライブとフロントドライブがインストール済み	M.2 ドライブだけインストール済み
B140i	すべてのローカルストレージが HPE OneView によって管理されている必要がある	M.2 ドライブが HPE OneView によって管理されている。プロファイルの移動なし
P244br H244br P246br	フロントドライブは HPE OneView によって管理されている M.2 ドライブを HPE OneView 外で手動で管理する必要がある	M.2 ドライブは HPE OneView によって管理されない。HPE OneView 外で手動で管理する必要がある

## ローカルストレージをサポートする ProLiant DL サーバー

注記: サポートされている Gen10 サーバーは、すべてローカルストレージをサポートしています。

表 11: ローカルストレージをサポートする ProLiant DL サーバー

モデル	Gen8	Gen9
DL360		✓
DL360p	✓	
DL380		✓
DL380p	✓	
DL560	✓	✓
DL580	✓	✓

## ストレージプラットフォームのサポート

HPE OneView では、以下のストレージプラットフォームがサポートされています。

- HPE 3PAR StoreServ
- HPE StoreVirtual 3200
- HPE StoreVirtual VSA

# 構成の上限

## 割り当てられる ID

表 12: 割り当てられる ID の構成の上限

リソース	最大
MAC 範囲	66,240
WWN 範囲	15,360
仮想 SN (シリアル番号) 範囲	1,280

## アプライアンス

表 13: アプライアンスの構成の上限

リソース	最大
ファームウェアバンドルの最大ディスク容量	12 GB (約 3 バンドル)
同時使用ユーザー数	5

## 接続

表 14: 接続の構成の上限

リソース	最大
物理ポートごとの接続数 (FlexNIC の上限)	8 <sup>1</sup>
サーバー 1 台当たりの物理ポート数 :	
ハーフハイトサーバーブレード	6 ポート (デュアルポート LOM カードおよび 2 つのメザニンカード)
フルハイトサーバーブレード	10 ポート (2 つのデュアルポート LOM カードおよび 3 つのメザニンカード)
サーバー 1 台当たりの接続数 (平均)	24
予約済み接続数 <sup>2</sup>	4,800
展開済み接続数 <sup>3</sup>	61,440
接続の総数	66,240

<sup>1</sup> 構成詳細については、「[アダプターおよび HPE Virtual Connect の構成](#)」を参照してください。

<sup>2</sup> すでに作成されているが、特定のインターコネクタダウンリンクに関連付けられていない接続。

<sup>3</sup> 物理インターコネクタポート、および場合によってはサブポート（サーバーの FlexNIC）に割り当てられた接続数。

## SAN ストレージ

表 15: エンクロージャーの構成の上限

リソース	最大
ボリューム	10,000
ストレージシステム	40

## エンクロージャー

表 16: エンクロージャーの構成の上限

リソース	最大
エンクロージャー	54
エンクロージャーグループ	54
論理エンクロージャー	54
すべてのエンクロージャーにあるインターコネクタ	240

## ネットワークの制限

表 17: ネットワーク構成上の上限値

リソース	最大
ネットワークセットの総数	1,000
ネットワークセット当たりのタグ付き Ethernet ネットワーク数	162
論理インターコネクタグループ	240
論理インターコネクタ	240
論理インターコネクタ当たりのアップリンクセット数	144

# ネットワーク

表 18: ネットワークの構成の上限

リソース	最大
定義された、タグ付き、タグなし、トンネル、および FCoE ネットワーク数	8,192
論理インターコネクタ当たりのプロビジョニング済み Ethernet ネットワーク数	1,000
定義可能なネイティブ FC ネットワーク数 (FCoE/FC ブリッジネットワークを含む)	255
インターコネクタ1つ当たりのファイバーチャネルネットワーク数	8
論理インターコネクタまたはエンクロージャー1つ当たりのファイバーチャネルネットワーク数	48
論理インターコネクタ当たり最大5つの SNMP トラップあて先をファイバーチャネルとして指定することができます。	25
論理インターコネクタまたはエンクロージャー1つ当たりのネットワーク数	1,048
物理ダウンリンク1つ当たりのネットワーク数	162
アップリンクセット当たりのネットワーク数	1,000
アップリンクセットまたはインターコネクタ当たりの FCoE ネットワーク数	32
論理インターコネクタごとのプライベートネットワーク最大数	128

# 電源および設備

表 19: 電源および設備の構成の上限

リソース	最大
データセンター	640
ラック	640
PDD (電力供給デバイス)	82,016

表は続く

リソース	最大
非管理デバイス	26,880
iPDU	2,560
iPDU コンポーネント（ロードセグメントとコンセント）	76,800
分岐回路	2,560
ブレーカーパネル	64
給電	32

## サーバーハードウェア

表 20: サーバーの構成の上限

リソース	最大
エンクロージャー	54
サーバーの総数 <sup>1</sup>	1024
管理対象サーバー	740
監視対象サーバー	1024
ICM	240

<sup>1</sup> サーバーを管理対象または監視対象として追加できます。HPE OneView では、管理対象サーバーと監視対象サーバーを、各タイプの最大サポート台数まで任意に組み合わせて追加できます。

## サーバープロファイル

表 21: サーバープロファイルの構成の上限

リソース	最大
割当て済みのサーバープロファイルの総数	740
未割当てのサーバープロファイルの総数	100

# サポートと他のリソース

次のトピックでは、HPE サポートセンターの情報と、HPE OneView を使用する上で役立つその他のリソースおよびドキュメントを紹介します。

## Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ライブアシスタンスの場合、「Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide」の Web サイト ([www.hpe.com/assistance](http://www.hpe.com/assistance))にアクセスします。
- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイト ([www.hpe.com/support/hpesc](http://www.hpe.com/support/hpesc))にアクセスします。

### 必要な情報

- テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、およびシリアル番号
- オペレーティングシステム名とバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートとログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

## アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。
  - Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの「メールニュース配信登録」ページ：<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>
  - Software Depot の Web サイト：<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>
- お客様の資格を表示したりアップデートしたり、契約や保証をお客様のプロファイルにリンクしたりするには、次に示す Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページにアクセスします。<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>

❗ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。



## Web サイト

Web サイト	リンク
Hewlett Packard Enterprise Information Library	<a href="http://www.hpe.com/info/enterprise/docs">www.hpe.com/info/enterprise/docs</a>
Hewlett Packard Enterprise サポートセンター	<a href="http://www.hpe.com/support/hpesc">www.hpe.com/support/hpesc</a>
Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide	<a href="http://www.hpe.com/assistance">www.hpe.com/assistance</a>
OneView のドキュメント	<a href="http://www.hpe.com/info/oneview/docs">www.hpe.com/info/oneview/docs</a>
サブスクリプションサービス/サポートのアラート	<a href="http://www.hpe.com/support/e-updates-ja">http://www.hpe.com/support/e-updates-ja</a>
Software Depot	<a href="http://www.hpe.com/support/softwaredepot">www.hpe.com/support/softwaredepot</a>
カスタマーセルフリペア	<a href="http://www.hpe.com/support/selfrepair">www.hpe.com/support/selfrepair</a>
HPE OneView FAQ ドキュメントのリモートサポート	<a href="#">リモートサポートのドキュメント (英語)</a>
Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) ストレージ互換性マトリックス	<a href="http://www.hpe.com/storage/spock">www.hpe.com/storage/spock</a>
HPE Virtual Connect のユーザーガイド	<a href="http://www.hpe.com/info/virtualconnect">http://www.hpe.com/info/virtualconnect</a>
HPE Virtual Connect のコマンドラインリファレンス	
HPE 3PAR StoreServ Storage	<a href="http://www.hpe.com/info/storage">http://www.hpe.com/info/storage</a>
Integrated Lights-Out	<a href="http://www.hpe.com/jp/servers/ilo">http://www.hpe.com/jp/servers/ilo</a>
HPE BladeSystem エンクロージャー	<a href="http://www.hpe.com/info/blades-ja">http://www.hpe.com/info/blades-ja</a>
HPE ProLiant サーバーハードウェアの Web サイト	<ul style="list-style-type: none"><li>一般的な情報: <a href="http://www.hpe.com/info/servers-ja">http://www.hpe.com/info/servers-ja</a></li><li>BL シリーズサーバーブレード: <a href="http://www.hpe.com/info/blades-ja">http://www.hpe.com/info/blades-ja</a></li><li>DL シリーズラックマウント型サーバー: <a href="http://www.hpe.com/servers/dl">http://www.hpe.com/servers/dl</a></li></ul>
ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート	<a href="http://www.hpe.com/storage/whitepapers">www.hpe.com/storage/whitepapers</a>

## リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

[www.hpe.com/services/getconnected](http://www.hpe.com/services/getconnected)

HPE プロアクティブ ケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

HPE プロアクティブケアサービス：サポートされている製品のリスト

[www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts](http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts)

HPE プロアクティブケアアドバンスドサービス：サポートされている製品のリスト

[www.hpe.com/services/proactivecareadvancedsupportedproducts](http://www.hpe.com/services/proactivecareadvancedsupportedproducts)

## カスタマーセルフリペア（CSR）

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア（CSR）プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

## ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当（[docsfeedback@hpe.com](mailto:docsfeedback@hpe.com)）へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。